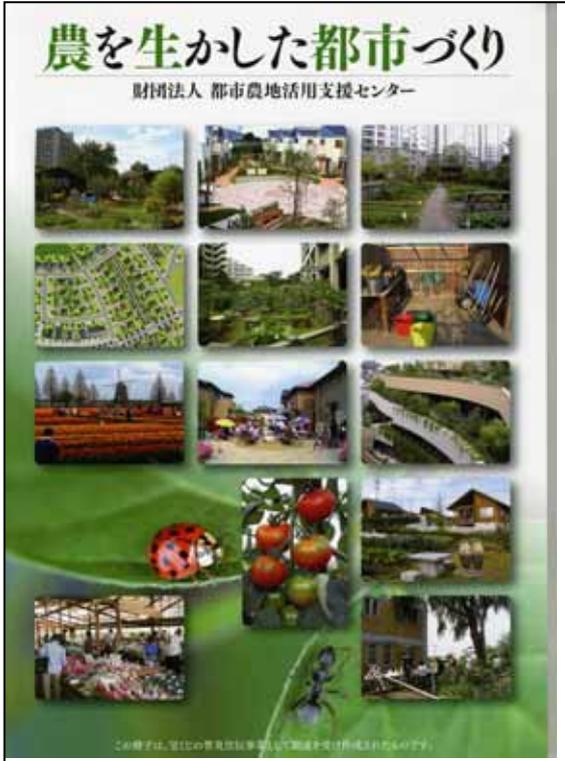


多彩な事例に見る都市農地・農業活用の新段階

～小冊子「農を生かした都市づくり」刊行に寄せて～

はじめに（刊行にあたって）



本冊子の特徴

- ・都市農地の新たな利活用の方向
- ・都市住民が農を楽しむ様々なライフスタイル
- ・農地所有者が都市住民と共存する工夫
- ・農地を活用した良好な住環境の提供事例
- ・多様な主体の参画や連携の取組み

仕様： A4版、80ページ
オールカラー写真集

日本全体で人口が減少に転じ、郊外部の新規宅地需要も減少傾向にある中、全国で8万haある市街化区域内農地をはじめとした都市農地をどのように利用するべきか大きな曲がり角に立っています。

先に策定された住生活基本計画（全国計画）では「（大都市圏の）市街化区域内農地については、市街地内の貴重な緑地資源であることを十分に認識し、保全を視野に入れ、農地と住宅地が調和したまちづくりなど計画的な利用を図る」ことが明記されました。

しかし現実には、農業行政と都市・住宅行政の狭間であってこうしたまちづくりを進めることは決して容易なことではではありません。

この小冊子は、第一線で様々な努力をして時代の要請にあった「農を生かした都市づくり」を実現しているプロジェクトを集めた事例集であり、JA担当者、行政担当者、まちづくりの専門家はもちろんのこと、多くの関係者の間で広く情報を共有することを目的に作成されたものです。

今後の都市農地のあり方を検討するうえで、参考となれば幸いです。

財団法人 都市農地活用支援センター

小冊子の構成

巻頭解説

都市農地の新しい利活用に向けて - 本書編纂のねらい -

当センター理事 佐藤啓二

提言（インタビュー）

“学校農場”で日本を変える！

話し手 早稲田大学 伊藤滋 教授

聞き手 当センター理事 佐藤啓二

寄稿

アーバングリーンライフのすすめ

東京農業大学 進士五十八 教授

先進事例紹介

カールスルーエのクラインガルテン



（インタビュー）伊藤滋 教授

筑波大学 大村謙二郎 教授

農を生かした都市づくり・事例集

- ・白石農園（東京都練馬区）
- ・みずほの村市場（茨城県つくば市）
- ・いずみ野小学校（神奈川県横浜市）
- ・ふれあいの里大沢（東京都三鷹市）
- ・さくらガーデン（神奈川県横浜市）
- ・いかるがの里服部農住組合（奈良県斑鳩町）
- ・砧クラインガルテン、アグリス成城（東京都世田谷区）
 笠間クラインガルテン（茨城県笠間市）
- ・つくば中根金田台地区（茨城県つくば市）
- ・三富新田（埼玉県西部）
- ・リベラルファーム東川（北海道東川町）
- ・柏市あけぼの山農業公園（千葉県柏市）
- ・ハーブと果樹園のある街（埼玉県北本市）
- ・優良田園住宅アーバンビレッジ（新潟県上越市）
- ・ムカサガーデン三室（埼玉県さいたま市）
- ・さまたまの見沼たんぼ（埼玉県さいたま市、川口市）
- ・上尾市上平農住組合（埼玉県上尾市）
- ・渋谷区区民菜園（東京都渋谷区）
- ・足立区東六月町体験農園「ロッキーファーム」
（東京都足立区）
- ・錦太陽の里（東京都練馬区）
- ・菜園付き共同住宅「藤和シティホーム府中白糸台」
（東京都府中市）
- ・武蔵野農業ふれあい公園（東京都武蔵野市）
- ・国分寺市市民農業大学（東京都国分寺市）
- ・秋川ファーマーズセンター（東京都秋川市）
- ・レーベンスガルテン山崎（神奈川県鎌倉市）
- ・JAあぐりタウン「げんきの郷」（愛知県大府市）
- ・アーバンファーム（大阪府大阪市）
- ・四條畷市栗尾地区農住組合（大阪府四條畷市）
- ・ビレッジガルテン（大阪府、兵庫県）
- ・「ガーデンシティ舞多聞」みついかいプロジェクト
（兵庫県神戸市）
- ・メンバーズタウン福田（香川県高松市）



(聞き手) 佐藤啓二 理事



多様化する農園、菜園、クラインガルテン